

10 くらしやすいまちづくり

1 にぎわいのある住みよいまちづくり

目指す姿

少子高齢化に伴う社会構造の変化に対応し、県民が安心して住み続けられるよう、福祉・医療・文化施設等の地域資源を活用した地域を元気にするまちづくりを進めます。また生活者の視点から「やすらぎ」「憩い」に配慮した空間づくりを進めます。

主担当部局(長)名
まちづくり推進局長 増田 哲司

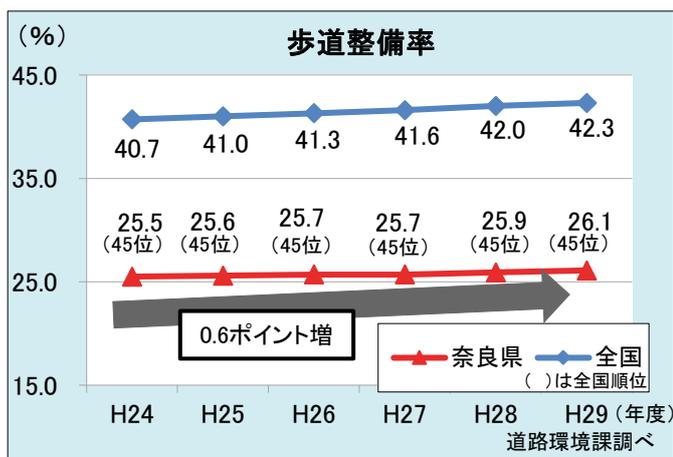


川辺のまちづくり(佐保川)

主な成果

- ・地域の実態に応じた住生活の維持・向上を推進するため、平成29年12月に奈良県住生活ビジョンを改定しました。
- ・市町村が発注する基本構想策定支援業務への財政支援や各地区の進捗にあわせ技術的支援を実施し、まちづくりに関する基本構想策定数は、平成29年度で累計27地区となりました。

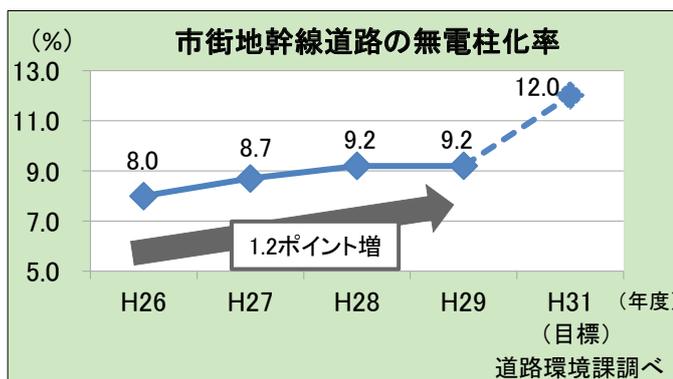
1. 政策目標達成に向けた進捗状況



目標	「やすらぎ」「憩い」に配慮した生活しやすい空間づくりを目指します。
成果	安全で安心な歩行空間を確保するために、歩行空間の整備推進を行ったことで、平成29年度の歩道整備率は、前年度と比べて0.2ポイント上昇し、26.1%となりました。

2. 戦略目標達成に向けた進捗状況

戦略目標	①自転車の利用を促進するため、案内誘導及び注意喚起サイン整備等を進め、約600kmの広域的な自転車ネットワークの充実を目指します。(H26年度末:約460km整備済み) ②平成31年度までに、市街地等幹線道路の無電柱化率を12%にします。(H26年度:8%) (直轄道路含む)
------	---



目標	平成31年度までに、市街地等幹線道路の無電柱化率を12%にします。(H26年度:8%) (直轄道路含む)
成果	平成22年に策定された無電柱化ガイドラインに基づき、平成29年度に市街地幹線道路で約0.1kmを整備し、無電柱化率は9.2%となりました。(直轄道路含む)